

令和4年度
広域産業振興局 事業計画

関西広域連合 広域産業振興局

関西広域産業ビジョン(将来像と関西経済活性化戦略)

関西が目指す将来像

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、
イノベーションが生まれる地域

多様な人々が活躍・共生できる関西

多くの人々を引きつける、
豊かで持続可能な生活圏を形成する魅力ある地域

【目標】 2040年度の関西（広域経済圏）の

▶ 経済・産業の国内シェア25%

▶ GRP約1.8倍（2010年度比）の約180兆円

関西経済活性化戦略

【将来像と目標実現のために関西が当面（今後5年を見据え）、重点を置いて取り組んでいく3つの戦略】

【戦略1】関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化

【戦略2】高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援

イノベーションが
生まれる関西

【戦略3】個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化

関西を支える人材の確保・育成

○関西スタートアップ・エコシステムの推進

- ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化

○ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて

- ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化
- ・欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンスの実施【協調】
- ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施
- ・PMDA関西支部の活用促進【協調】

○グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

- ・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施
- ・エネルギービジネス推進事業【協調】

○新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備

- ・関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業

○SDGsの達成に取り組む企業への支援

- ・関西プラスチックごみゼロ推進事業

○ニューノーマル時代における企業の成長支援

- ・企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化

○地域魅力の発信・マーケットの拡大支援

- ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

○オール関西による企業の成長支援

- ・企業の成長支援機関の活用促進【協調】
- ・産学連携促進事業【協調】
- ・海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

○人材の確保・育成施策の推進

- ・人材検討会の運営
- ・「from NOW ON KANSAI」の発行

○情報発信機能の強化

- ・広報活動の実施

○広域産業振興の取組にかかる評価・検証

- ・「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

※協調事業：

構成府県市・関係団体の事業を活用し、連携して実施する事業。

※関西広域連合域内・構成府県市：

産業振興分野に参画する滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

◇関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(10,818千円)

スタートアップは、革新的技術で経済活性化や社会課題の解決を通じて未来社会を創造する牽引役である。国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、自律的かつ持続的にイノベーションが生み出され、スタートアップが誕生・成長する関西の実現に向けては、多様なプレイヤーの共創や大学、研究機関等、知との融合がスムーズに図られる“スタートアップ・エコシステム”の推進が不可欠となる。

京阪神が国のスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市として選定されたことは、オール関西のエコシステムの構築に向けた大きなアドバンテージである。

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムと関西広域連合が連携し、域内の共通点や強みを活かし関西エコシステムのポテンシャルを世界に向けて発信することで、国内外のリソースを集め、スタートアップの成長環境を構築していく。

<実施内容>

- ▶域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録
- ▶国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信
- ▶Crunchbase等の海外メディアへの情報発信
- ▶関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催
- ▶関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等

《目標》

50社

四半期に一度

半期に一度

年に一度

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて①

◇ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(7,286千円)

海外に訴求力のある大規模展示会やビジネスマッチングイベント等への参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信。国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。

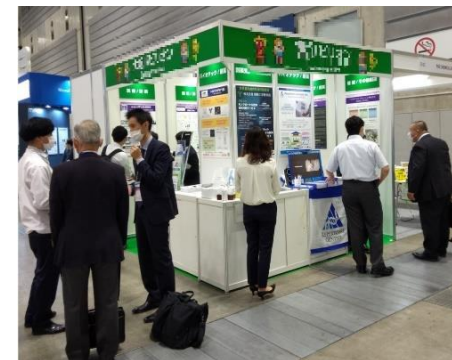
《目標》BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上

BioJapan 2022

- <開催日> 令和4年10月12日(水)～14日(金)
- <開催場所> パシフィコ横浜(横浜市西区)
- <主催> BioJapan組織委員会
(株)JTBコミュニケーションデザイン

■BioJapanへの参加

海外展開や共同研究などに繋がるマッチング支援やセミナーを通じ、関西の強み・ポテンシャルを広く発信する。



(BioJapan会場イメージ)

医療と介護の総合展 大阪 (通称:メディカル ジャパン 大阪)

- <開催日> 令和5年1月18日(水)～20日(金)
- <開催場所> インテックス大阪(大阪市住之江区)
- <主催> RX Japan(株)
- <特別協力> 関西広域連合

■メディカル ジャパン 大阪への出展

- ・関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを映像やパネルなどによりわかりやすく紹介。
- ・産学官連携の事例紹介、医療機器等分野への参入促進や域内の大学・研究機関等が企業とのマッチングを希望する研究成果を発表するセミナーをオンライン等で実施。

◇欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンスの実施【協調】

欧州のライフサイエンスクラスター・企業と域内企業等とのパートナーリングカンファレンスを実施。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況次第でオンライン開催となる可能性あり

- <開催日> 令和4年10月11日(火) 参加予定企業数:50社程度

◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施(2,224千円)

ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬品医療機器等法などの取り扱いに加え、知財や基盤技術、生産・管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施する。

《目標》相談件数:250件以上

＜内 容＞ 相談業務、事業の周知活動 等
＜開催場所＞ ターミナルなど交通至便な場所に加え
オンラインでの対応



(イメージ)

◇医薬品医療機器総合機構(PMDA)関西支部の活用促進【協調】

PMDA関西支部で実施している医薬品・医療機器・再生医療等製品の相談事業等について、周知・広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

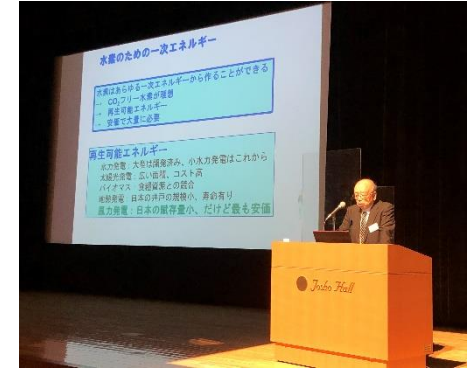
◇「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施(1,785千円)

関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。

《目標》 参加者数:200人以上
マッチング件数:フォーラム発表数(8人を想定)の7.4倍以上

フォーラムの概要

- ＜開催日＞ 令和4年12月8日(木)
- ＜開催場所＞ 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー
(大阪市北区)
- ＜テーマ＞ 水素・燃料電池、蓄電池等
- ＜内容＞
 - ・特別講演
 - ・研究成果発表
 - ・ポスターセッション
 - ・交流会



(昨年度の様子)

◇エネルギービジネス推進事業【協調】

大阪府が設置している専門人材を活用したエネルギービジネス関連の相談窓口について、周知広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

◇関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業(23,583千円)

企業の事業化支援の更なる強化の観点から、従来の公設試による取組と域内の経営支援機関が展開する事業化支援の取組を有機的につなぎ、広域の事業化支援ネットワークの充実強化を牽引するプラットフォームの構築をオール関西で取り組む。

《目標》「かんさいラボサーチ」アクセス件数:23,000件以上
産業技術支援フェア参加者数:250人以上

<内容>

1 企業ニーズに応える事業化支援強化事業

- (1) 企業からの相談に対応し、企業の事業化レベルに応じて支援
(※「かんさいラボサーチ」のコンシェルジュ機能に加え、経営支援機関等と連携したトータルサポートを実施)
- (2) 公設試・産総研・大学等のシーズ(研究成果)を発掘するとともに、企業の事業化ニーズの探索を広く行い、双方をマッチング(※産業技術支援フェアの拡充を含む)
産業技術支援フェア in KANSAI 2021ーものづくり×「いのちに力を与える」ー
＜開催日＞ 令和4年11月11日
＜開催場所＞ 大阪産業創造館(大阪府中央区)
- (3) 委託事業者と連携し、シーズ・ニーズの発掘を行う

2 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業(※委託事業)

3 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等

◇関西プラスチックごみゼロ推進事業（500千円）

海洋プラスチック問題などの地球規模の環境問題の解決に向けた COP21での「パリ協定」の採択、G20大阪サミットでの「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」など、国際的な長期目標が設定される中、関西広域連合においても「関西プラスチックごみゼロ宣言」を発出し、プラスチックごみゼロに向けた各種活動や普及啓発に取り組んでいる。

規制や啓発といった環境政策面の取組と並行し、プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面からの取組を進めていく。

《目標》 情報発信セミナー・公設試等による技術シーズ発表会 & マッチング会・開発製品等の展示商談会等の総来場者数：1,000人以上

<内容>

- ・代替プラスチックの開発動向・技術シーズ等情報提供、研究開発支援
- ・開発製品等のプロモーション支援 等

〔SDGs対応技術展2022〕

<開催日> 令和4年10月20日(木)～21日(金)

<開催場所> 大阪産業創造館(大阪府中央区)

◇企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化（1,097千円）

ウィズコロナ、アフターコロナでのニューノーマルの潮流の中で、企業においても、新たなビジネス戦略を打ち出していくことが必要となっている。

企業のICT化の取組みを推進するための支援情報等、ニューノーマルな時代に必要な情報を、セミナー等を通じて発信し、中小企業等の成長を支援する。

《目標》WEBセミナー視聴回数:1,000回以上

先進企業事例やDXの必要性等についてセミナーを開催

<開催日> 令和4年11月～12月(予定)

<内 容> IoT導入先進企業事例の紹介、デジタル化による生産性向上、DXの必要性と効果 等

<対 象> 中小企業、中小企業支援機関 等

※ライブ配信し、後日編集動画を配信予定

◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(6,742千円)

デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。

《目標》「CRAFT14」HP アクセス件数:4,300 件以上

国内プロモーション実施

誠品生活日本橋(株式会社有隣堂)との連携による首都圏でのプロモーションイベントの開催

＜開催日＞令和4年12月27日～令和5年1月31日

＜開催場所＞誠品生活日本橋(コレド室町テラス内)

海外プロモーション実施

パリ中心部における展示会への出展

＜開催日＞令和4年8月～令和5年3月末

＜内容＞欧州(フランス)の展示会への出展支援等を行うことで、域内ものづくり企業の海外販路開拓を支援

・パリ展 : 令和4年11月2日～同月19日

・地方都市展: 令和4年11月25日～12月2日

＜参加事業者数＞9社(昨年度参加事業者16社より募集)

「CRAFT14」等の情報発信



(国内プロモーションイベントの様子)

◇企業の成長支援機関の活用促進【協調】

域内企業の成長を支援する機関(※)が行う取組について、周知・広報を行い、その活用促進を図る。

(※)

- ・ INPIT近畿統括本部 (INPIT-KANSAI)
- ・ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部 (再掲)
- ・ 日本国際紛争解決センター
- ・ 航空産業非破壊検査トレーニングセンター
- ・ 製品評価技術基盤機構 (NITE) 大阪事業所
- ・ 京都国際調停センター 等

◇産学連携促進事業【協調】

事業主体: 大阪産業局

大学や高等専門学校と連携して実施するセミナー等の産学連携事業について、周知・広報を行い、広域連合域内企業等の活用を促進する。

◇海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

構成府県市が設置している海外の企業支援拠点(ビジネスサポートデスク)の一部について、共同利用を実施し、中小企業等の海外展開を支援する。

(設置地域) インド、タイ、ベトナム、ミャンマー、中国、台湾

◇人材検討会の運営(98千円)

人材に関するテーマを設定の上、支援機関、金融機関、企業等からの情報提供、意見交換をはじめとする交流型の勉強会等を実施、構成府県市における施策展開につなげる。

- ・ 人材に関する企業ニーズ等の情報収集
- ・ 人材支援機関、企業等とのネットワークの構築 等

◇「from NOW ON KANSAI」の発行(人材確保・育成情報の発信)(1,376千円)

関西広域連合域内における人材の育成・確保に資することを目的として、域内の大学や経済団体、企業の取組みで、参考となるニュースや好事例等の情報を収集し、「from NOW ON KANSAI」として発行する。

《目標》「from NOW ON KANSAI」発行回数:3回以上
産業人材HPアクセス件数:2,600件以上

情報発信機能の強化

◇広報活動の実施(650千円)

広域産業振興局や構成府県市の施策について、ホームページやメールマガジンの発行等を通じて、域内外に向け、最新情報の提供を行う。

《目標》 広域産業振興局HPアクセス件数:30,000件以上

広域産業振興の取組に係る評価・検証

◇「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営(277千円)

ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行うため、「関西広域産業ビジョン」推進会議を運営する。

<「関西広域産業ビジョン」推進会議 委員>

(学識経験者)

甲南大学 名誉教授
兵庫県立大学名誉教授、
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 特任教授
関西学院大学商学部 教授

稲田 義久 氏

加藤 恵正 氏
川端 基夫 氏

(経済団体)

徳島県商工会議所連合会 専務理事
鳥取県商工会議所連合会 幹事長
公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長
近畿府県商工会連合会連絡協議会 理事
大阪商工会議所 理事・総務企画部長

小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事)
中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事)
野島 学 氏
早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長)
丸山 新二 氏(関西商工会議所連合会 事務局)

(官公庁)

近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長

大平 昌幸 氏

(50音順、令和4年4月1日現在)

参考:「関西広域産業ビジョン」に掲げる戦略への位置づけ

| 戦 略 | 事 業 |
|---|--|
| <p>【戦略1】 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化 ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 ・欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンスの実施【協調】 ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 ・PMDA関西支部の活用促進【協調】 ・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施 ・エネルギービジネス推進事業【協調】 ・関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業 |
| <p>【戦略2】 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(再掲) ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(再掲) ・関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業(再掲) ・関西プラスチックごみゼロ推進事業 ・企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化 ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 ・企業の成長支援機関の活用促進【協調】 ・産学連携促進事業【協調】 ・海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】 |
| <p>【戦略3】 個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(再掲) ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(再掲) ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(再掲) |
| <p>関西を支える人材の確保・育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・人材検討会の運営 ・「from NOW ON KANSAI」の発行 |